

執筆：SecurityScorecard 中村 悠

編集：SecurityScorecard 橋本 詩保

今だから知りたい、『脅威インテリジェンス』シリーズ #4

第四講：脅威インテリジェンスを活用するための“サイバー攻撃への理解”（続き）

脅威インテリジェンスを活用するため、サイバー攻撃を3つのカテゴリに定義する

前回のコラムでは、「脅威インテリジェンスを活用する目的を設定する。そのために、サイバー攻撃のライフサイクルを理解する。」というテーマで話を進めてきました。

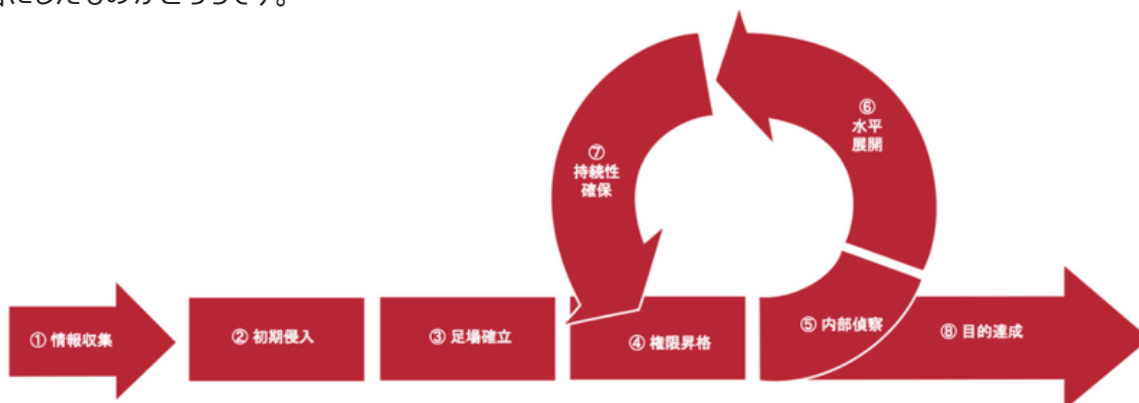
この図、是非、思い出してください。サイバー攻撃のライフサイクルを理解するために、非常にわかりやすいと思います。

出典：Mandiant APT1レポート

(<https://www.fireeye.jp/content/dam/fireeye-www/services/pdfs/mandiant-apt1-report.pdf>)

P.27 “APT1 Attack Lifecycle” より

日本語にしたものがこちらです。



この「1. 情報収集」～「8. 目的達成」の8つのステップを踏むことで、攻撃者は攻撃を繰り返します。詳細は、前回の投稿をご覧ください。

では、「脅威インテリジェンス活用のために、セキュリティ対策の目的設定をする」というテーマで話を前に進めます。

続きを見たい場合は

メーカーBlog^

<https://securityscorecard.com/threat-intelligence-4-jp>